

令和5年度 第2回 藤沢市立藤沢小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年7月6日（木）10:00 から
場 所 藤沢小学校ミーティングルーム

出席委員	栃本 親（会長・三者連携（たまじやり応援団会議）会長） 河瀬 弘之（副会長・藤沢小学校校長） 三觜 忠（藤沢東部地区青少年育成協力会会長） 小山 八千代（藤沢西部地区青少年育成協力会会長） 官川 光代（藤沢東部地区民生委員・児童委員、藤沢子供の家運営委員） 鈴木 久美子（藤沢西部地区民生委員、2021年度藤沢小学校評議員） 鈴木 一平（藤沢地区郷土づくり推進会議委員、白旗神社氏子代表、2021年度藤沢小学校評議員） 井出 祥子（藤沢公民館館長） 伊藤 久乃（藤沢地区担当 CSW） 有田 千代（藤沢小学校保護者代表、2022年度PTA代表委員会） 鈴木 勝久（元藤沢小学校校長） 小堀 貴史（藤沢小学校教頭） 以上12名 欠席1名
次第	1. 学習参観 2. 藤沢小学校の子どもを取り巻く課題 3. 藤沢地区における各団体について 4. その他、会議予定
協議内容	（質問・意見等） ※1について ・子どもたちがとても楽しそうに授業を受けている。 ・子どもたちと先生とのつながりが感じられる。 ・子どもたちのあいさつがごく自然で、学校運営協議会委員の参観を受け入れてくれているのが伝わってきてうれしく感じる。 ・1年から6年の絵がそれぞれ掲示されていて、子どもたちの成長を感じ取ることができた。 ・授業の進め方に先生方の工夫が感じられる。 ⇒コロナ禍でクロームブックの使用が定着してきた。今後も必要に応じて活用していく。 ※2について ⇒（地域を知る）子どもが地域とつながることが大切。藤小フェスティバルでは3年生が地域についてのクイズを行っていた。このように身の回りの地域から広げていく活動を大事にしたい。 ⇒（多様性）外国にルーツをもつ児童が転入し日本語の初歩から学んでいる。また、外国語のFLTや国際理解の先生の授業を子どもたちは楽しみにしている。今後も子どもたちは様々な人と出会う機会を増やし、世界を広げ、その中から多様性を認め合う人権教育を大事にしたい。

	※3について ・藤沢市郷土づくり推進会議と藤小で協力して、地域を学ぶ活動に取り組んでいきたい。 ⇒郷土のカルタ作りは、地域を楽しく学びながら、後の世代に残すことができる。 このように地域とつながり、同じ方向で歩んでいけるような学習活動に取り組んでいきたい。 ・コミュニティスクールの導入で地域と学校の間口が広がったように感じる。今後は子どもたち向けの掲示板の設置など、地区と学校の間口が広がる具体的なことができると思う。
--	---

次回開催日程 令和5年9月26日(火) 10時～

場所 藤沢市立藤沢小学校 図工室